



一般質問

2月定例会では、24人の議員が一般質問を行いました。
本紙では、各議員の質問の中から、質問と答弁の要旨を掲載します。



島谷 龍司
議員



選挙区 鳥取市
会派 自由民主党

デジタル化による共生社会の実現について

問 持続可能な地域社会の中で、誰一人取り残されず、全ての人々がデジタル化の恩恵を享受でき、心豊かな暮らしを実現する共生社会への本県の取組は。

答 あいサポート運動を展開する本県らしく、デジタル田園都市国家構想の中で大手企業とタイアップして、開発中のAIを活用した簡単に手話通訳ができるようなシステムの実証実験など、それぞれの障がいに応じた情報アクセシビリティ（※）のモデル事業を展開しながら地域共生社会の実現の一助としたい。



松田 正
議員



選挙区 米子市
会派 自由民主党

サイクルツーリズム推進に向けた組織改正

問 専門部署の新設を高く評価したい。この新しい組織の人員の規模感、期待する効果を伺う。

答 サイクルツーリズム振興室を県庁の中に設置。正職員として6名、さらに各部局と連携するため、兼務で6名を配置したい。鳥取県庁としてはそこそこの規模感を持たせていただいた。併せてサイクルツーリズム振興監を設置し、観光交流と一体となりながら、令和3年度内にナショナルサイクルルート指定に向けた準備にめどをつけてまいりたい。



福田 俊史
議員



選挙区 八頭郡
会派 自由民主党

サウナツーリズム推進事業について

問 新年度当初予算にとっとりサウナツーリズム推進事業が提案されたが、コロナで傷んだ県内温泉地や観光業界の再生に向けて、サウナをどう位置づけ、活用していかれるのか、知事の意気込みを伺う。

答 1月から関係者による意見交換の場を設けているが、サウナは鳥取らしい旅につながるという提案がある。サウナの設備整備の助成制度も予算に盛り込んだ。新年度、鳥取砂丘でサウナPRイベントを行うなど、サウナ旅を盛り上げていきたい。



銀杏 泰利
議員



選挙区 鳥取市
会派 公明党

飲食支援、原発問題 空港コンセッション

問 ①飲食のクーポン、今後発行を②島根原発安全協定の立入調査権と措置要求権の行使判断は③鳥取空港のコンセッションは、空の駅への情熱、地域貢献、地域振興の意思・意欲があるのかを判断材料にすべき。

答 ①感染の状況を見て、速やかにスタートしたい。#WeLoveのクーポン券の4月以降の延長も検討する②ルールを米子・境港と詰め、共同で運用していく③地域、空港の賑わいづくり、地元企業の参画、地域貢献という要素を加えて公募する。



坂野経三郎
議員



選挙区 鳥取市
会派 会派民主

遭難事故から命を守る 農家所得の減少を防ぐ

問 ①約三割である登山届の提出率を向上させるべき。また、登山での遭難防止のため、スマホを活用したウェブやアプリによる登山届提出を増やすべき②米価下落対策のため米の消費拡大を。水田活用の直接支払交付金の新制度に対し、「農業やめる」という悲鳴を聞いた。国には、鳥取県の農家の声が届いていない。

答 ①（警察本部長）登山アプリ活用を検討しつつ、遭難防止対策を推進する②星空舞等メディア戦略を考える。JAグループ等、農業者の御意見を国に届ける。



語堂 正範
議員



選挙区 東伯郡
会派 自由民主党

①国民保護②不妊治療 ③高校魅力化

問 ①国民保護に際し、計画どおり機能するための訓練は行うのか②希望をかなえる不妊治療を進めるため、国のさらなる見直しが必要。知事会から改善を求めている③高校魅力化事業を進めるには、学校と市町村・地域・関連団体の連携が重要。体制が整えば連携し推進するのか。

答 ①図上・実動訓練を市町村・住民の協力のもと行いたい②知事会から要望する③（教育長）地域との結びつきは非常に大きな意味合いを持つ。キャッチボールを行いどんどん進めたい。

※情報アクセシビリティ…パソコンやスマートフォンなどによる情報の受け取りやすさ

一般質問

議事録の全文は、県議会ホームページからご覧になれます。

鳥取県議会議事録



※掲載に時間がかかる場合があります。

代表質問

一般質問

常任委員会活動

議決結果



濱辺 義孝
議員

選挙区 鳥取市
会派 公明党

障がい者の就労支援、 工賃向上等推進強化を

問 障がい者の就業機会の確保と工賃向上等を更に推進するためには、県内だけの取組では限界があると考えます。他県とのネットワークを構築し、情報交換、人材育成に取り組む必要があると考えますが、知事に問う。

答 鳥取県障害者就労事業振興センターの働きかけにより、県境を越えてノウハウを共有したり、人材育成などを行っていかうという趣旨のネットワークがこのたび作られた。単県では難しい事案もあるので、地域間連携も重視し、取り組みたいです。



西川 憲雄
議員

選挙区 八頭郡
会派 自由民主党

除雪にロータリー車を 里親の委託率の向上を

問 ①除雪で積み上がった雪をロータリー車で取りのぞくよう県で用意できないか②家庭的な雰囲気の中で愛情深く育てる里親の委託率を上げるべきでは。

答 ①県の除雪機械は国交付金を活用しており制度上貸し出し出来ない。町などが導入されるのであれば応援させていただく②養護施設からの移行は世界の趨勢で、県でも令和6年までに里親委託40%を目標に増やす方向だが、丁寧に無理なく環境を整えながら移行させていくことが大切。



常田 賢二
議員

選挙区 鳥取市
会派 自由民主党

鳥取城跡について

問 ①県主導で歴史資産を活用した観光戦略を打ち出すべき②博物館側ルート石垣等の早急な修繕を③VR・AR(※)・QRコード等ICTの活用を④鳥取森林管理署跡地を鳥取城跡の駐車場に。

答 ①お城を素材に観光誘客に繋げ、他県や県内との連携も積極的に展開していきたい②新年度応急対策をしようとして今動いている③国庫補助に県も上乗せ補助し、史跡保存活用整備事業としてできるようになった。鳥取市に仕組みを紹介したい④賛成だ。鳥取市、林野庁と協議したい。



川部 洋
議員

選挙区 倉吉市
会派 自由民主党

新型コロナウイルス 感染症対策の出口

問 5類への見直しも含めて、感染対策の出口の議論の時期だと考えている。国内外でコロナによる規制の撤廃など対策を緩める動きが出始めていることをどう受け止めているのか？

答 多くの国民は5類になってもかえって不安になり、まちに出なくなるかもしれないので、その議論は冷静に感染症の現実に即してやればいい。むしろ経済社会を動かすための出口戦略、ウィズコロナ戦略をシステムチックに考えることが大事になってくると思う。



市谷 知子
議員

選挙区 鳥取市
会派 無所属

コロナ、水田交付金、 島根原発、30人学級

問 ①コロナ無料検査継続。施設病院職員に無料検査を②次のコロナ業者支援③後期高齢者医療保険料上げるな④水田交付金減額中止と米価補填⑤島根原発再稼働NOを⑥ロシアが核使用発言。国に核兵器禁止条約参加求める⑦30人学級学年選択可能に。

答 ①継続。職員は全額補助②柔軟に対応③年8,449円上がる④必要に応じ要望。補填考えてない⑤精細検討加え判断⑥ヒバクシャ国際署名を行った。こうした声がプーチン大統領動かす事願う⑦(教育長)弾力的運用可能。



興治 英夫
議員

選挙区 倉吉市
会派 会派民主

島根原発2号機の新規制 基準適合と安全対策

問 ①耐震設計基準となる地震動820ガルは妥当か②新基準への適合以外に、県民を守るために必要な対策を抽出、要望し、原発を動かす覚悟と責任を、国と中国電力に確認してほしい。

答 ①2号機立地岩盤の地下構造も調査して設定され、県の原子力安全顧問に、地震規模や耐震設計の安全性を確認いただいた。今後の新知見は反映してもらおう②全く同意だ。機械的承認ではなく、様々な知見を結合し判断する。どんな災害、テロにも、守り切れることを求める。

※VR・AR…VR (Virtual Reality) は仮想空間を体験できるデジタル技術、AR (Augmented Reality) は現実世界にデジタル情報を付加し表示させる技術



一般質問

会派正式名称
【自由民主党】
【会派民主
【公明党】

鳥取県議会自由民主党
会派民主
公明党鳥取県議会議員団



野坂 道明
議員



選挙区 米子市
会派 自由民主党

デジタル時代の自律的 行財政改革について

問 ① 県営発電施設の民間譲渡に向けて専門家の知見を入れながら可能性について詳細に分析すべき② 県と外郭団体や出資法人との関係を抜本的に見直すべき③ 情報センターの株式も含め政策上保有の必要性が低い有価証券は積極的に売却すべき。

答 ① 民営化や事業譲渡等も含めて検討を進めていく② 出資や株の保有について点検をさせていただく③ 様々な出資関係について歴史的経緯はあるが見直しを図っていきたい。



山川 智帆
議員



選挙区 米子市
会派 無所属

J R 米子支社の存続担 保・原発の安全担保

問 ① J R 米子支社の機能が存続するよう76億円の事業を実施。支社存続の覚書が必要ではないか② ロシアによる原発攻撃を受け、国際ルール順守と武力攻撃を想定した避難計画の策定を全国知事会で訴えてはどうか。また、UPZ30キロエリア内の休業補償等を国に対して求めた上で避難訓練を実施しては。

答 ① 支社存続が事業目的ではないが、やり取りを確認しながら記録を残す② 全国知事会でも議論する。一定の想定のもとで効率的な訓練実施が必要となる。



澤 紀男
議員



選挙区 米子市
会派 公明党

県立夜間中学の開校 について

問 義務教育の未修了者や形式卒業者、外国籍の人が学べる県立夜間中学は令和6年の開校を目指している。これからの時代、外国籍の人の受け入れにどのような意義があると考えられるのか。

答 日本の基礎的な教育も当事者の外国人の方々も望んでいる。日本はまだここが弱いと思う。ボーダレスの時代が進んでいく国際社会の中でしっかりとした経済成長、社会の発展を得ることはできない。教育を受けるトータルな場として夜間中学には大きな効果があると思う。



内田 隆嗣
議員



選挙区 米子市
会派 自由民主党

通学路における 安全対策について

問 平成24年に通学路における緊急合同点検等実施要綱が制定され、鳥取県は、国、県、市町村合同で通学路における安全対策を実施している。令和3年度の要対策箇所460か所の対応状況、対策整備の進捗を伺う。

答 県管理の109か所のうち107か所は対応済み。市町村によっては進み具合に課題があるとも率直に感じるところで、改めてその市町村や国に対策の重要性について働きかけたい。



浜田 一哉
議員



選挙区 境港市
会派 自由民主党

水産業の振興 教育行政の諸課題

問 ① EEZ周辺環境が厳しく、生産者は安心して操業が出来ない。国際間での協議を進めるよう国に働きかけるべき② フロン製造中止に伴う冷凍設備について、県の対応は？③ 小中学校におけるタブレットの利用に関して、最大限有効活用出来るよう県内統一のルールを作るべき。

答 ① 新年度の国への要望の際、漁業秩序の確立を提供していく② 共同利用を含めたプロジェクトを関係者間で議論する③ (教育長) 持ち帰りの可否や出席の扱いを市町村と検討していく。



中島 規夫
議員



選挙区 鳥取市
会派 自由民主党

消防団の体制強化 青谷上寺地遺跡の活用

問 ① 災害の激甚化に伴い、消防団に求められる役割が多様化する中で、団員減少や平均年齢上昇などの課題への対応は② 青谷上寺地遺跡は令和5年のプレオープンに向け整備が進む。周辺地域の活性化への取組は。

答 ① 市町村に消防団の崇高な役割をご理解いただき、処遇改善を働きかけたい② 弥生の王国青谷フェスタなど地元気運の盛り上げや観光事業者等による歴史ツアー造成など、日本人のルーツかもしれない本県を満喫してもらえよう模索したい。

一般質問

【答弁者説明】
答弁者は、記載のないものは知事（各部長の答弁も含む）。教育長、警察本部長は知事の部局ではないため、別に表記した。

代表質問

一般質問

常任委員会活動

議決結果



浜崎 晋一
議員



選挙区 鳥取市
会派 自由民主党

新年度予算編成と特別支援教育のあり方

問 ①今回の予算編成に当たり、どこに力点を置いたか②地域の小学校に入学を希望する医療的ケア児も増えていくが医療と福祉と教育が連動して包み込むような本県らしい対応を。

答 ①新型コロナを抑え命と健康を守り抜き、産業や雇用、ふるさとを再構築して安心安全な本県にふさわしい穏やかな地域社会を考えていく②（教育長）障がいのある子も含めて共に学び共に遊び、共に受け入れる社会への大きな一歩となるよう環境を整えしっかり支援していく。



西村 弥子
議員



選挙区 米子市
会派 会派民主

視覚障がい者の同行援護従業者の拡充

問 ①同行援護における県の役割は②従業者不足のため研修の拡充工夫が必要。夏休み等に医療福祉系の学生等に受講を呼びかけ協力連携を求めている？学校側は快諾した。県が受講料負担を③同行援護と介護報酬の差25%を県と市町村で助成しては。

答 ①研修をテコ入れし人材育成する②充実した研修ができるよう全県の体制を再調整する。社会貢献のやり方を現場と検討。（教育長）呼びかけたい③実情に合った制度設計を国に要請する。ボランティアも組み合わせる。



由田 隆
議員



選挙区 倉吉市
会派 無所属

県内の地域消防力強化に向けて（常備防災）

問 総務省消防庁の消防力整備指針に対する本県の消防職員の充足率は、低いまま推移している。今後激甚化する災害に迅速に対応するため、消防職員の増員等の消防体制の強化が課題と認識する。

答 一定程度の消防力は確保されていると思うが、災害の形態、コロナ救急搬送等ニーズも変わり、消防職員の採用や研修等のレベルアップについて、今後も東・中・西の3消防局と協調して消防力の強化に県も協力させていただきたい。



福間 裕隆
議員



選挙区 西伯郡
会派 会派民主

古代淀江遺跡回廊構想 公共交通と地域の存続

問 ①全国の賛同者が提案する「淀江回廊」構想と青谷上寺地遺跡をドッキングさせ、鳥取県の財産として発信されたい②持続可能な鉄道、公共交通を模索すべき。道路偏重の公共投資の是正を国へ提起すべき。

答 ①「淀江回廊」構想に敬意を表す。「とっとり弥生の王国」の大きなスポットとして構想を応援する②JRの地方路線経営は制度的支援が必要と国交大臣に要望。今後もそうした観点で政府に要求していく。



森 雅幹
議員



選挙区 米子市
会派 会派民主

学校魅力化について

問 学校の魅力化のポイントは、高校生が「学校が楽しい」と感じることはないか。学ぶということは、本来楽しいものだ。その視点を魅力化に入れるべき。また、魅力化の議論に高校生を参画させることも重要ではないか？

答（教育長）学校の魅力化の視点に生徒たちの声や思いを入れ込んでいくことも大事な視点。生徒たちが主語になる、3年間この学校に通って楽しかったと後輩たちに伝えていける、周囲に発信できる、そんな学校づくりに向けて取り組む。



福浜 隆宏
議員



選挙区 鳥取市
会派 無所属

新型コロナ“致死率” いじめ“加害者対応”

問 第5波までと第6波で致死率は40分の1に低下。オミクロンは感染力が強いので、当然感染者は増える。重症化リスクの高い高齢者等の接種が進んだ今、警報基準を見直すべきでは。

答 オミクロン株が一通り収束した段階で、ウイルスに応じた警報基準の設定があるのかも知れないのでよく考えていきたい。

問 いじめの加害者がカウンセリングを受けた例はわずか1.6%。もっと丁寧に加害者対応すべき。

答（教育長）同感。対応マニュアルに十分記載ない。取り組む。